

# 株式会社多奈可や

業種	宿泊・飲食サービス業	事業所所在地	新潟県新発田市	資本金	500千円
		売上高	～10,000万円	従業員数	2名

 	被承継者（左）		
	田中 順一	68歳	※承継時
			承継者（右）
			田中 正一
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2017年11月		その他の親族（娘婿）	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
宿泊・飲食業		市町村合併による宴会事業の激減。セレモニーホールが増加し、葬儀・法要の席が大幅に減少。少子高齢化が進み、宴会や料理に対する需要の減少。特に、宴会でのアルコール消費量の減少は著しく、粗利益率も低下。	

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 3年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
被承継者も高齢となり、周辺地域の少子高齢化・人口減少により年々、客数・客単価ともに低下して売上高が減少。新しい商品やサービスの開発が必要だったため。	目先の対応に追われて、していなかった中長期の経営計画。	売上減少が続いてきたため手持ち資金が不足し、厳しい資金繰り状況だったこと。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	特になし	売上減少が続いてきたため手持ち資金が不足し、厳しい資金繰り状況だったこと。





これに一番苦労した！

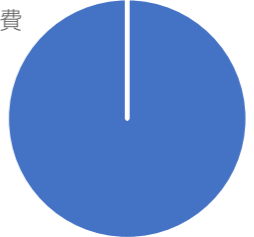
世代間のギャップ

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	各種提出書類の作成
いつから相談？	
承継実行の 2年前	
相談のきっかけ	
事業承継のために承継者または被承継者自身がアプローチした	

## 経営革新等に係る取組の標題

### ふるさと納税返礼品等を活用した首都圏等へのあんこう鍋セットの宅配

経営革新等に係る取組の内容	商品の新たな生産又は販売の方式の導入
<p>●当社は、江戸中期に紫雲寺湯が開拓されて人々が移り住み始めた頃、新潟と村上を結ぶ街道を往来する旅人の疲れを癒す旅籠として創業された。現在の十一代目が気兼ねなく過ごせる宿、季節の味を楽しめる割烹として営業しているが、周辺地域の少子高齢化・人口減少により年々、客数・客単価ともに低下して売上高が減少したため、新しい商品やサービスの開発が必要だった。そこで、店舗で調理した『あんこう鍋セット』を全国に宅配する宅配事業を開始する計画を立てた。</p> <p>●そのため、本補助金を活用して、アルコール凍結機を導入した。同時に中古の真空包装機を自社財源で導入したことにより、冬の看板料理である「あんこう鍋」を瞬間冷凍して「うまみ」を凝縮したまま地域内外へ宅配することが可能となった。さらに、「あんこう鍋セット」を全国へ宅配できる体制を整えたことで、新発田市ふるさと納税返礼品の採用へとつながり、首都圏を中心とした全国のふるさと納税寄付者等への販路拡大が実現した。</p> <p>●また、アルコール凍結機を導入したことで、テイクアウトのお弁当や年末のおせち・オードブル、お盆のオードブルに使用する焼き物や肉などを加工することも可能となり業務効率が向上した。今後、鮮魚販売の免許を取得したことにより、『あんこう鍋セット』の他にも新たな商品の開発を目指す。</p>	
   	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
11代続く飲食店として地域企業や自治会の会合など、地域活性化に貢献していきたい。	<p>■ 設備費</p>  <p>経費の主な使い道</p> <p>設備費：アルコール凍結機購入費</p>

認定経営革新等支援機関の名称：紫雲寺商工会			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施

申請書作成のサポート

今後に向けて～次の目標	
2020年から2023年に向けて	県外への宅配業務の定着。新たな商品の開発、販売。
売上高 25 %UP	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
特に無し。	思い立ったが吉日。